

価値創造プロセス

川崎重工グループは、世界を取り巻く社会課題に対し、多様で高度な技術力を駆使して課題解決に貢献することにより、新たな価値を創造し続けます。

グループミッション

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する
“Global Kawasaki”

- 地球温暖化
- 脱炭素化
- エネルギー問題
- 人とモノの移動の変化への対応
- パンデミック対策
- 医師の不足・負担増
- リモートワークを含む多様な働き方の増大



- 産業構造の変化
技術革新/AI, IoTの進化
- 気候変動
地球温暖化/大規模災害
- 為替の変動
海外売上高比率が高く収益に影響
- 経済動向
設備投資による影響/パンデミックの影響/米中貿易摩擦

| 経営資源 | |
|---|------------------------------|
| (2023年度) | |
| 財務資本 | |
| 投下資本 | 1兆1,088億円 |
| 長期借入金に占めるサステナブルファイナンスの割合 | 19.1% |
| 製造資本 | |
| 生産拠点 | 国内: 17 箇所 海外: 24 箇所 |
| 設備投資額 | 1,337 億円 |
| 知的資本 | |
| 研究開発費 | 533 億円 |
| 特許保有件数 | 国内: 3,049 件 海外保有: 4,511 件 |
| 人的資本 | |
| 従業員数 | 39,689 名 |
| 女性・外国人・キャリア採用者の部長級以上への登用率 ^{※4} | 8% |
| 1人当たり教育研修費用 ^{※4} | 31,500 円 |
| 社会/関係資本 | |
| サプライヤー調達アンケート回答件数 | 533 社 |
| IRミーティング実施件数 | 290 件 |
| 自然資本 | |
| 非再生可能エネルギー使用量 | 1,363,002 MWh |
| 取水量 ^{※4} | 5,496 百万m ³ |
| 原材料投入量(鋼材) ^{※4} | 11 万t |

事業活動と戦略(グループビジョン2030)

事業スタイルの変革

長い歴史の中で蓄積された多種多様な価値や隠れている価値=資本を可視化し、それらを新たな社会課題・マーケットに向けた

- コーポレートトランスフォーメーション
- ポートフォリオマネジメント
- 他社連携の推進によるイノベーション

事業を通じて創出する社会・環境価値

- 航空宇宙システムカンパニー (航空機/航空機用エンジン)
- 川崎車両株式会社 (鉄道車両/除雪機械)
- カワサキモーターズ株式会社 (二輪車/オフロード四輪車(SxS・ATV)/パーソナルウォータークラフト/汎用ガソリンエンジン)
- 航空宇宙システム (安全安心リモート社会, 近未来モビリティ)
- 車両 (エネルギー・環境ソリューション)
- パワースポーツ&エンジン
- 精密機械・ロボット
- エネルギーソリューション&マリン (エネルギー関連機器・システム/船用推進関連機器・システム/産業機械/環境装置/低温貯槽装置/水素関連設備/破砕機/船舶)

事業活動を支える基盤(ESGへの取り組み) 詳細はP.15-16およびP.71-80

- エネルギー・環境ソリューション (バリューチェーン)
- 人財活躍推進
- コンプライアンス
- ビジネスと人権
- 技術開発・DX
- 労働安全衛生
- 製品責任・安全
- 情報セキュリティ

アウトプット

(2023年度)

| | |
|--|---|
| 財務資本 | |
| 営業キャッシュ・フロー | 316 億円 |
| 事業利益率 | 2.5% |
| 税後ROIC ^{※1} | 2.8% |
| ※1 ROIC = (親会社の所有者に帰属する当期利益 + 支払利息 × (1 - 実効税率)) ÷ 投下資本(期首・期末平均のNET有利子負債 + 期首・期末平均の自己資本) | |
| 製造資本 | |
| [グループビジョン2030]3つの注力フィールドにおける製品・事業化数 | 22 件 |
| Kawasakiエコロジカル・フロンティアズ(環境配慮製品社内認証制度) | |
| 登録製品数 ^{※4} | 68 件 |
| 売上収益 ^{※4} | 2,429 億円 |
| 知的資本 | |
| クラリベイト社の「Top 100 グローバル・イノベーター ^{※3} 」を8回受賞(2015~2024年) | |
| ※3 保有する特許データを基に知的財産・特許動向を分析し、世界の革新企業・機関のトップ100を選出するもの | |
| 人的資本 | |
| 「働きやすい環境」と「社員エンゲージメント」が共に高い従業員割合 | 29% |
| 社会/関係資本 | |
| CDP気候変動調査 リスト企業(2年連続)、DJSI Asia Pacific Indexに選定(11年連続) | |
| 自然資本 | |
| 事業活動によるCO ₂ 排出量(Scope 1, 2) | 41.6 万t-CO ₂ (マーケット基準) |
| 製品貢献によるCO ₂ 排出量の削減効果 ^{※4} | 1,630.0 万t-CO ₂ |
| 水使用量 ^{※4} | 1,313 百万m ³ |
| ※4 川崎重工、川崎車両、カワサキモーターズの合計 | |
| 財務目標 | |
| 事業利益率 ⇒ 2030年度までに10%超 | |
| 税後ROIC ⇒ 資本コスト ^{※2} (WACC) +3%以上 | |
| ※2 現状の資本コスト(WACC)は4~5%台と推計 | |
| 主要な製品・サービス | |
| 安全安心リモート社会 リモートによる新しい価値の創造 | |
| 既存事業 | <ul style="list-style-type: none"> 産業用ロボット 防災製品(非常用ガスタービン、ドクター/防災ヘリ、オフロード二輪車/四輪車) ロボットシステム[Successor[®]]/ヒューマノイドロボットの開発・知能化 |
| 新規事業 | <ul style="list-style-type: none"> 手術支援ロボット[hinotori[™] サージカルロボットシステム] 介護業務支援サービス事業 Remolink プラットフォームを通じた社会課題解決 屋内位置情報サービス [mapxus Driven by Kawasaki[™]] |
| 近未来モビリティ 人・モノの移動を変革 | |
| 既存事業 | <ul style="list-style-type: none"> 鉄道車両 船舶 航空機 モーターサイクル オフロード四輪車 |
| 新規事業 | <ul style="list-style-type: none"> VTOL無人機[K-RACER] 屋内配送ロボット[FORRO] ヘリコプタ手配サービス[Z-Leg[™]] スマートシティを支えるモビリティ 物流ソリューション |
| エネルギー・環境ソリューション 安定したグリーンエネルギーへの挑戦 | |
| 既存事業 | <ul style="list-style-type: none"> 低環境負荷ソリューション 鉄道車両 モーターサイクル 航空機 CCPP^{※5}/産業用プラント 油圧機器 |
| 新規事業 | <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素ソリューション 水素サプライチェーン 水素燃料化 電動化 グリーン電力網 DAC^{※6} CCUS 代替燃料 |
| ※5 コンバインドサイクル発電プラント ※6 Direct Air Capture | |

アウトカム

社会価値の創出

安全安心リモート社会
リモートによる新しい価値の創造
詳細はP.55-56へ

近未来モビリティ
人・モノの移動を変革
詳細はP.57-58へ

エネルギー・環境ソリューション
安定したグリーンエネルギーへの挑戦
詳細はP.43-54へ